

Affettuoso

愛情を込めて、情趣豊かに

(ピアノ)

蓼沼 恵美子



Emiko
Tadenuma

アラ
ン・ム
ニエ
(チェロ)



Alain
Meunier

(ヴァイオリン)

澤 和樹



Kazuki
Sawa

プログラム

ハイドン：ピアノ三重奏曲 No.25 ト長調 「ジプシー・ロンド」
Haydn: Piano Trio No.25 in G major, "Gypsy"

ブラームス：ピアノ三重奏曲 No.2 ハ長調 Op.87
Brahms: Piano Trio No.2 in C major, Op.87

ベートーヴェン：ピアノ三重奏曲 No.7 変ロ長調 Op.97 「大公」
Beethoven: Piano Trio No.7 in B flat major, Op.97 "Archduke"

2022

11月8日(火)

pm7:00 開演 (6:30 開場)

王子ホール

中央区銀座4-7-5 ☎03-3564-0200
銀座4丁目交差点より徒歩2分

¥4000 (全自由席)

● チケット取扱い

王子ホールチケットセンター ☎03-3567-9990 <http://ojihall.jp>
チケットぴあ Pコード 223924

● お問合せ/チケット取扱い

スピカ ☎03-3978-6548 ✉spica@sepia.ocn.ne.jp

アラン・ムニエ Alain Meunier (チェロ)



1942年、パリに生まれる。7歳からチェロを始め、13歳でパリ国立高等音楽院に入学し、15歳で室内楽、16歳でチェロのプリミエ・プリ(最高位)を獲得。18歳で突如として演奏活動を停止し、音楽美学や音楽学などを学ぶ。22歳で再びチェロを手にし、決意も新たに、イタリア・シエナのキジアーナ音楽院に入学し、更なる研鑽を積む。同音楽院卒業後、「ピアノ・クインテット・キジアーナ」のメンバーとして活動を開始して以来、ソリスト並びに室内楽奏者として世界各地で活躍する。リヨン国立高等音楽院、パリ国立高等音楽院の教授を歴任。また、ボルドー国際弦楽四重奏コンクールの実行委員長、「ナポリ音楽フェスティヴァル」の音楽監督、多くの国際コンクールの審査員など幅広い活動を展開し、音楽家からの信望も厚い。現在、イタリアのフィエゾーレ音楽院のアーティストティック・ディレクター。

澤 和樹 Kazuki Sawa(ヴァイオリン)



1979年、東京藝術大学大学院修了。安宅賞を受賞。'80年より文化庁在外研修員としてロンドンにて研鑽を積む。ロン＝ティボー、ヴィエニアフスキ、ミュンヘンなどの国際コンクールに入賞。イザイ・メダル、ボルドー音楽祭金メダル受賞などヴァイオリニストとして国際的に活躍。'84年に東京藝大に迎えらる。'89年、文部省在外研究員としてロンドンの王立音楽院にて更に研鑽を積む。'90年、澤クワルテットを結成。'96年、指揮活動を開始。2004年、和歌山県文化賞受賞。東京藝術大学音楽学部教授、音楽学部長を経て'16年より'22年まで東京藝術大学長。現在、東京藝術大学及び英国王立音楽院名誉教授。

蓼沼 恵美子 Emiko Tadenuma(ピアノ)



東京藝術大学を首席卒業。学内にて安宅賞を受賞。同大学院修了後、ロンドンにて研鑽を積む。1983年、ミュンヘン国際コンクール、ヴァイオリン・ピアノ二重奏部門にて第3位入賞。'84年、東京にてデビューリサイタルを開催し、本格的な演奏活動を開始する。室内楽においても、澤和樹はじめ著名アーティストと共演を重ね、高い信頼を得ている。フィンランドのクフモなど、国内外の音楽祭に招聘されるほか、NHK-FM、BBC等にも出演。ヘンシェル弦楽四重奏団との共演によるピアノ五重奏曲、澤和樹とのデュオなどのCDが音楽誌上で高く評価されている。現在、洗足学園音楽大学、桐朋学園芸術短期大学講師。



スピカはおとめ座の一等星、ラテン語で“麦の穂”を意味します。

‘気軽に足を運び、心から楽しめるコンサート’を目指し、スピカは1990年に手作りコンサート活動をスタートしました。

踏まれても踏まれても伸びていく麦、
頭を垂れずまっすぐに天に向かって伸びていく麦の穂のようでありたいと願っています。